

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	欧州国際機関とのグローバル分野シンポジウム開催に係る経費			担当部署	欧州局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度開始, 平成23年度終了			担当課室	政策課		課長 倉光 秀彰		
会計区分	一般会計			施策名	I-4 欧州地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国と欧州は、基本的価値を有するパートナーとして、世界経済、気候変動、エネルギー安全保障、原子力安全、海賊対策、アフガニスタンといったグローバルな課題に効果的に対処するために、一層の連携、協力の強化が必要である。この観点から、在欧州の国際機関(EU、CE、OSCE、NATO等)との協力関係の方策を協議し、展望することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	在欧州国際機関の行政官、経済人、有識者の参加を得て、テーマ別のシンポジウムを開催し、日本と欧州の関係者相互の理解を増進させるとともに、共通の課題への効果的な対応策と右に関連する連携、協力の可能性を探究する。								
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	—	6	—		
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	—	—	—	6	—		
	執行額		—	—	—				
執行率(%)		—	—	—					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	【成果目標】シンポジウム開催による相互理解の増進、可能性のある具体的な協力に関する認識の共有			成果実績		—	—	—	50名
	【成果実績】シンポジウム参加者数(聴衆含む)			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	欧州からのシンポジウム・スピーカーの招へい者数			活動実績 (当初見込み)	人	—	—	—	() (5名)
単位当たり コスト	374,200(円/人)			算出根拠	招へい費(航空運賃(342,000/人)及び滞在費(32,200/人))				
平成23・24年度 予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	会議開催経費	3,589	—	廃止					
	滞在費	1,871	—						
	会議費	694	—						
	計	6,154	—						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	会場借料・会食費の節約、ディスカウントチケットの活用等経費削減に務めている。		
予算監視・効率化チームの所見			
	廃止		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	B.			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0	
D.			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	中央アジア・コーカサス資源エネルギー産出国との対話セミナー実施にかかる経費		担当部局庁	欧州局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度開始 ・平成24年度終了(予定)		担当課室	中央アジア・コーカサス室		室長 池上 正喜		
会計区分	一般会計		施策名	I-4 欧州地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、エネルギー資源確保を巡る状況が厳しさを増す中、石油、天然ガス、ウランや、希少金属(レアメタル)等のエネルギー・鉱物資源が豊富な中央アジア・コーカサス地域との関係強化をはかるため、我が国官民一体の総合アプローチにより、同諸国の関係省庁・諸機関のキーパーソンとの関係強化を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	中央アジア・コーカサス8カ国のエネルギー・鉱物資源に関する関係諸官庁・諸機関のキーパーソンを招聘し、我が国に比較優位のある分野をテーマとして、(1)我が国の省エネ・環境技術・公害対策などのノウハウやその他特定テーマに沿ったセミナーの実施、(2)日本側関係省庁及び民間企業等との意見交換、(3)我が国の先端技術や施設への視察を行い、先方の対日理解の深化を図ると共に、エネルギー・鉱物資源分野における人脈構築及び今後の協力可能性を探る。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	5	-	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	-	5	-	
	執行額		-	-	-			
	執行率(%)		-	-	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	中央アジア・コーカサス諸国のエネルギー関係者の訪日招聘・セミナー実施を通じて人脈構築及び今後の協力可能性を図る(今年度中実施予定)。		成果実績	人				(5)
			達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本年度のみ実施予定(本年度中に本邦に中央アジア・コーカサス諸国のエネルギー関係者を招聘してセミナーを実施する予定)。		活動実績 (当初見込み)	件			()	(1)
単位当たり コスト	(円／)		算出根拠	本件事業は、先方エネルギー分野関係者との人脈構築および今後の関係強化を目指すものであり定量的な活動指標を示すことは困難				
平成23年度 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	旅費	3922	-	廃止				
	人件費	585	-					
	会議費	495	-					
	旅費	234	-					
計	5236	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	中央アジア・コーカサス諸国の有識者を招聘し、我が国の有識者と資源エネルギーについて意見交換を行い今後の人脈構築を図る。意見交換の場所には外務省国際会議場を確保し、また、経費についても厳正に対応し、節約に努めつつ、最大限の成果を上げるよう努力している。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					